

ウズベキスタン共和国

鉍工業プロジェクト選定確認調査

報告書

1995年11月

JICA LIBRARY



J 1125388 [7]

国際協力事業団
鉍工業開発調査部

鉍調査
95-210

LIBRARY



1125388(7)

ウズベキスタン共和国
鉍工業プロジェクト選定確認調査
報告書

1995年11月

国際協力事業団
鉍工業開発調査部

目 次

| | |
|--------------------------------|----|
| I. 概 要 | 1 |
| 1. 目的 | 3 |
| 2. 調査期間 | 3 |
| 3. 団員構成 | 3 |
| 4. 調査日程 | 3 |
| 5. 調査対象案件の背景及び概要 | 4 |
| 6. 調査・協議事項 | 4 |
| 7. 対処方針 | 5 |
| 8. 主要面会者 | 6 |
| 9. 協議概要 | 6 |
| (1) 対外経済省 | 6 |
| (2) 「UZBEKLEGPROM」公団 | 7 |
| (3) エネルギー・電化省 | 7 |
| 10. 関連施設視察概要 | 8 |
| (1) タシケント縫製公団「YULDUS」 | 8 |
| (2) タシケント繊維コンビナート | 8 |
| (3) アングレン石炭火力発電所 | 9 |
| 11. 総合所見 | 9 |
| II. 経済概況 | 13 |
| 1. 主要経済指標 | 15 |
| 2. 産業構造 | 16 |
| 3. ウズベキスタンの経済改革の現状 | 18 |
| 4. ウズベキスタンにおける産業立地の現状 | 21 |
| III. 国際機関等の支援状況 | 23 |
| IV. 繊維産業事情 | 27 |
| V. 電力事情 | 31 |
| VI. (参考) 収集資料 | 35 |
| ・ THE TASHIKENT TEXTILE MILL | 38 |
| ・ UZBEKISTAN POWER INDUSTRY | 49 |
| ・ ANGREN THERMAL POWER STATION | 57 |

I. 概 要

1. 目的

鉱工業分野の開発調査を効率的に実施するため、すでに我が国に要請がある案件及び今後我が国に正式要請される可能性のある案件について、その背景及び国家開発計画における位置付け等、我が国の協力の可能性の検討に資するため「ウ」国関係機関との意見交換、情報収集等を行った。

今回の対象分野は、以下のとおり。

(1) 繊維セクター

「タシケント縫製工場近代化」、「タシケント繊維コンビナート近代化」

(2) 電力セクター

2. 調査期間

1995年8月6日～8月13日(8日間)

3. 団員構成

| | | |
|--------|-------|----------------------------------|
| 団長・総括 | 長田 直俊 | 通商産業省通商政策局経済協力部 技術協力課長 |
| 技術協力政策 | 川口 哲郎 | 外務省経済協力局開発協力課長補佐 |
| 繊維行政 | 倉持 保雄 | 通商産業省生活産業局原料紡績課長補佐 |
| 電力計画 | 吉田 雄志 | 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部 発電課環境保全審査官 |
| 調査企画 | 田中 康広 | JICA 鉱工業開発調査部計画課長代理 |
| 通訳 | 余地 毅 | (財)日本国際協力センター |

4. 調査日程

- 8月6日(日) 移動(成田発10:40 → フランクフルト着15:30 LH711)
- 7日(月) 移動(フランクフルト発17:40 →
- 8日(火) タシケント着2:50 LH2876)
- 8日(火) 在ウズベキスタン日本国大使館表敬
- 9日(水) 対外経済関係省、「Uzbeklegprom」公団(軽工業省に相当)、エネルギー・電化省との協議
- 10日(木) タシケント縫製公団、タシケント繊維コンビナート、アングレン石炭火力発電所視察
- 11日(金) 在ウズベキスタン日本国大使館報告
- 12日(土) 移動(タシケント発7:40 → フランクフルト着11:20 LH2877)
- 12日(土) 移動(フランクフルト発20:50 →
- 13日(日) 成田着15:05 JL408)

5. 調査対象案件の背景及び概要等

(1) 繊維分野 (要請案件: 「タシケント縫製工場近代化」及び「タシケント縫製コンビナート近代化」)

背景・経緯等

ウズベキスタンは、原綿を年間約500万トン生産する綿花の一大生産地(繊維換算130万トンの綿を産出する世界第5位の綿生産国)である。

綿輸出は対旧ソ連域内輸出の3割強、対外輸出の8割程度を占めているものの国内で生産された綿繊維の加工度は10%程度であり、現在残り90%が未加工のまま輸出されている状況である。

「ウ」国は当該産業を重要な外貨獲得産業と位置付け繊維品の加工度向上を目的として当該案件の近代化が必要であるとの認識のもと「タシケント縫製工場近代化」及び「タシケント縫製コンビナート近代化」の両案件の工場近代化計画の策定に関し要請越したもの(T/R未接到)

「タシケント縫製工場近代化」の具体的調査項目(日本大使館作成案件調書による)

①生産設備機材状況調査

②労働力実態調査

③工場家屋及び敷地調査

「タシケント縫製コンビナート近代化」の具体的調査項目(同上)

①生産設備機材状況調査

②労働力実態調査

③環境の点から工場廃水設備調査

その他

94年1月「繊維工場改修計画」として①フェルナガテキスタイル・コンビナートの紡績・織布機材の更新②フェルナガ市のフェルナガ紡績工場の紡績施設の更新、並びに③ブカ市のブカ綿紡績工場の紡績施設の設置等、綿製品の生産能力向上のための円借款要請が提出されている。

(2) 電力分野 (要請書未接到)

背景・経緯等

ウズベキスタンの電力は一電力系統によって供給されており、また、中央アジア統一電力システム(中央アジア5ヶ国の国際協定)によりウズベク、タジク、トルクメニスタン、キルギス、及びカザフスタンの南部を500KV送電線(状態は概して良好)で融通し合っており、その管理は、タシケントにある中央アジア給電所が行っている。

「ウ」は、カザフを除く他の中央アジア諸国においても電源開発に指導的役割をはたしており、その重要性、必要性は中央アジアの安定のために不可欠と思われる。

このような状況のもと、伝え聞くところによれば「ウ」国は外国との交流において法体系の整備を含む省エネルギー技術、燃費が悪い火力発電所の効率改善及び火力発電所の環境改善等の希望を持っておりこれらを念頭に置いた協力が考えられる。

93年7月に行ったプロジェクト選定確認調査の際には、先方・エネルギー電化省より①「タシケント市配電網近代化計画」、②「エングレン地区石炭火力発電所環境対策(排煙脱硫)」③「ファルハート水力発電所設備(リハビリ)」の3プロジェクトの提示があり、その後①については、平成6年度正式要請あるも、市内ケーブル網の再建であり開発調査になじまない等との理由から採択しなかった経緯はあるものの再度、プロジェクト・ファインディングを行うことは有意義と考えられる。

6. 調査・協議事項

- (1) 鉱工業分野の開発調査スキームの詳細な説明
- (2) 案件の意向確認(国家開発計画におけるプライオリティ等)
- (3) 国際機関及び他国の協力の動向・将来計画
- (4) 我が国が協力し得る鉱工業分野における開発調査案件の発掘

- (5) サイト調査
- (6) 関連情報の収集等

7. 対処方針

(1) 基本方針

1991年後半に独立し、市場経済体制への仲間入りをし、市場経済メカニズム導入を新進的に取り入れ基幹産業の民営化、有価証券市場整備、外資導入の優遇措置などを盛り込んだ大統領令を発出し、更に、市場経済化改革を加速している現状にある。

更に、「ウ」のカーリーモフ大統領は市場メカニズムの導入に当たり我が国を初めとするアジア方式の経済運営に学びたい旨述べると我が国に対する期待は高い。我が国としては「ウ」のこのような期待等を中心とする市場経済化の政策を支援していくことに寄り中央アジアの安定的発展に寄与することを基本目的とする。

(2) 「タシケント縫製工場近代化」及び「タシケント繊維コンビナート近代化」F/S調査（詳細内容不明）

原綿の産地であるがほとんど原料を輸出し、綿製品は輸入している。また、本案件も含み生産設備・技術水準が国際水準から極めて立ち遅れている。「ウ」国の重要産業である繊維産業の近代化は必要不可欠と考えるが、現在の繊維産業における民営化状況、が行われていると聞いておるが、今次調査においては、個別工場の機械の更新、労働力調査等について調査するも、繊維産業全体をみすえた開発調査案件として妥当性を調査・議論するものとする

(3) 電力分野

詳細内容は不明ながら、「ウ」の電気事業が直面している問題は経緯・背景の項でも述べたが今後、市場経済化が加速されてくると将来産業の米である電力の不足が足かせとなることが懸念される。また、旧ソ連時代には重要視されていなかった省エネルギー対策の実施、火力発電所の効率改善及び発電設備の老朽化に伴うリハビリ等を中心に先方の計画を聴取するとともに省エネを含めた日本の経験を紹介し、その必要性について意向を聴取する。

(4) その他新規案件

上記以外の新規候補案件については、「ウ」側の要望内容を聴取することとし、開発調査案件として適当と判断される案件については、要請書の提出を促すこととするがその採択に関しては、要請書接到後、我が国関係省庁と協議の上決定される旨説明することとする。

(参考)

我が国は平成7年6月ウズベキスタンの「地方通信網拡充事業」に初の円借款を供与

案件概要：「ウ」の地方中核都市のうち9都市間の基幹伝送路の整備及び中・西部の4都市におけるデジタル交換機（関連する地域伝送路及び加入者ケーブルを含む）の整備を実施するもの。

借款金額及び供与条件：

金額：127億円

金利：3%

償還期間（うち据置）：30（10）年

調達条件：一般アンタイト

8. 主要面会者

(1) 対外経済関係省

Hasan S. ISLAMKHODJAEV

極東・太平洋地域諸国局長

Victoria Mitereva

同局シニア専門官

(2) 「Uzbeklegprom」公団

Arkady U. POPOVSKY

対外経済活動・JV設立局長

(3) エネルギー・電化省

Mukhsat Abdyllaw SHUKHRAT ABDYLLAER

次官

Elena B. Korneva

対外経済関係局専門官

(5) タシケント縫製公団

リネ外

主任技師（副工場長）

(6) タシケント繊維コンビナート

Tursunboev Bahodir Turdalievich

副所長

(7) アングレン石炭火力発電所

ババラヒモフ

所長

(8) 在ウズベキスタン日本国大使館

孫崎 亨

特命全権大使

渡邊 孝

二等書記官

長谷川 トモノリ

三等書記官

佐々貴 良智

派遣員

9. 協議概要

(1) 対外経済関係省

調査団より、日本の技術協力のスキーム全般につき説明するとともに、特に今回の訪「ウ」の目的である鉱工業分野における開発調査に関し、パンフレットを手交のうえ詳細に説明した。特に今回の調査対象である繊維分野、電力分野について調査目的・調査内容等を説明し、更に将来的には、省エネルギー、工業統計分野についても協力可能なプロジェクトがあり得ると考える旨述べた。

「ウ」側より詳細な説明を受け開発調査のスキーム及び意義に関する理解が深まったこと及び当方よりの貴重な示唆に謝辞を表した。

更に、先方より、本件調査団の目的と離れるかもしれないが、現在「ウ」から要請中の円借款案件についての検討状況等承知したい旨の照会があった。これに対し調査団より、本調査団のマンデートはあくまでも繊維産業及び電力セクターのプロファイ・ミッションであり、公式に回答できる立場ではないとの前置きのうえ、円借款と開発調査の結びつき等の観点を含め、非公式な立場でのコメントを付したところ先方より率直かつ明確なコメントに対し感謝の念を抱きつつ今後どのように案件を取り進めて行けば良いか見えてきたと述べると共に今後とも率直な対話を通じての両国間の協力を着実に前進させたいと考える旨述べた。

(2) 「UZBEKLEGPROM」公団

先方より、公団概要につき次のとおり説明。

本公団は91年まで軽工業省であったが、91年5月軽工業省関係の組織改革の法律が施行され、その際、現在の組織が設立された。15名の評議会委員により運営がなされ、その下に11名からなる理事会がある。当公団は絹繊維、織物、メリヤス、縫製産業、子供服、陶器、皮革、人工皮革等の軽工業品全般を統括する機関。

調査団より開発調査、特に鉱工業分野における開発調査について詳細に説明した後、過去の要請案件を含め先方の要望を聴取したところ先方より次のとおり説明がなされた。

現在の「ウ」の綿花生産の現状は世界で4～5番目であるが、旧ソ連時代の分業体制の結果、国内の綿産業は十分に発展しておらず、現在の国内加工量はわずか10～15%程度であり、将来的には20～25%に高めたいと考える。

具体的には、綿紡糸、ニット、ソックス、織物原料等の綿製品の加工度向上のため、新鋭設備の導入、代替等により工場を近代化し生産量の増加及び品質の向上を図りたい。

更に、本公団は生糸も所管しており繭の生産量は世界で第3位、この分野においても工場の近代化等を行いこの分野においても「ウ」の地位向上を図りたい旨述べた。特に現在の「ウ」の繊維産業の立ち後れを考慮すれば、繊維工場近代化のための日本からの円借款を含む資金協力が大変重要である旨の意見がなされた。

当方より、開発調査と円借款等資金協力との連携は重要であるが、開発調査は必ずしも自動的にこれら資金協力に結び付くものではない点を理解して欲しい旨述べたところ、「ウ」側は、当方の説明を踏まえ改めて開発調査の要請につき検討したい旨述べた。

(3) エネルギー・電化省

「ウ」の電力事情及び鉱工業分野における開発調査案件について先方の要望を聴取。

「ウ」の全発電設備容量は約1,100万KWで、そのほとんどが火力発電所である。今後の電力マスタープランについては、2005年までの計画ができており、現在、EBRD等の新規発電所の開発計画を念頭に5つの開発プロジェクトが想定されている。そのうちの1つがシズダリンスク火力発電所である。また、その他の案件に関しては外国資金によってF/Sを行っているものもあると説明。

当方より平成6年度案件として要請された「タシケント市配電網近代化計画」についての現状について質問したところ、自分の担当ではないが（「ア」次官は配電担当ではなく）既に独を初めとする他国の援助によりF/S調査等が行われているのではないかと説明がなされた。

当方より、多くの課題がある電力セクターにおいて我が国の技術協力として検討可能と考えられる新たな要望があればと問うたところ、先方よりアングレン石炭火力発電所の環境改善計画について説明が以下のとおりなされた。

当該発電所は旧式の石炭発電所であり、NO_x、SO_x等の環境問題がある、本発電所の重要性は、非常に大きく現場を是非直接見て欲しい旨の要望がなされたところ、当方として、深刻な現状は理解できたので実際に現場を視察することとした。

10. 関連施設視察概要

(1) タシケント縫製公団「YULDUZ」

同工場は、1941年12月、モスクワ郊外にあった工場を当地に移設したものである。当初は軍服を生産していたが、現在は紳士服を中心にあらゆる衣料を製造している。同工場は、ウズベクで唯一のものであったが、その後2つに分離、支社も2つあったがそれぞれ独立した。

本工場は、81年から近代化に着手し、西独のズルコフ社製プレスを、86年には東独の協力を得て新設備の導入を行ったが50%程度の達成率であった。

また、アフガニスタンの工場とJVを試みるも中途の段階で失敗に終わった。同工場近代化の具体的内容は、デザイン部門のコンピューター化、裁断及び縫製部門の大部分の老朽設備の更新を図りたいとしている。

(工場概要)

- ①設立：1941年。
- ②工場施設：原料倉庫、デザイン室、裁断工程、縫製工程、製品倉庫。
- ③設備能力：裁断機20台、NO付け機50台、ミシン約700台、プレス5台、半自動袖等取付機。
- ④株式の持ち分：一般人14%、従業員36%、UZBEKLEGPROM公団国有財産管理委員会25%、未募集25%（外国企業も取得可能）。
- ⑤生産品目：紳士服中心にあらゆる衣料。
- ⑥生産能力：10万着/年。
- ⑦価格：スーツは1100～1200スム（35～39US\$）
- ⑧給与水準：1000～1200スム

(2) タシケント繊維コンビナート

「ウ」には4つの繊維コンビナート（タシケント、フェルガナ、アンジジャン及びブハラ）があり、本タシケントコンビナートはソ連労働者共産党の指令によって設立された綿織物、綿糸及びニット糸を製造する最大の企業である。

現在、カード糸織物を英国クロストーク社へ、ベッドシーツを日本へ、織物を独、伊、スペインへそれぞれ輸出している。

調査団の見たところ、本コンビナートの設備機器及び建屋は相当旧式で、製品も定番品と見受けられた。

(工場概要)

- ①設立：1933年
- ②敷地面積：102ヘクタール

- ③建築面積：19.6ヘクタール
- ④工場施設：紡績工場4、織物・編物工場4、仕上工場1、縫糸工場1
- ⑤資本金：3,906.9百万ルーブル（旧ソ連時代）
- ⑥設備能力：紡機263,500錠、織機5,437台（内訳：STB型-無杼織機450台、ATPR型-無杼織機2,077台、AT型-有杼織機2,910台）撚糸機42,300錠、捺染機21台
- ⑦生産量：綿糸：16,500トン/年、綿織物：18,000万m/年、
縫糸：26,000万m/年
- ⑧出荷先：国内800需要者、CIS諸国、フランス、イタリア、イギリス、スペイン、シリア、モンゴル
- ⑨工場付属施設：総合診療所、病院（400床、8科）、健康管理センター、
予防衛生診療所（130床）、保育園・幼稚園（19）、山間保養所、タシケント近郊の休息地、文化会館、農場「テキスタイル
ワーカー」（862ha）
- ⑩従業者数：13,000人

（3）アングレン石炭火力発電所

本発電所の設備容量は60万KW（10万KWx4ユニット、5万KWx4ユニット）であり、1957年最初のユニットが建設され、1968年に現状の形態となる。（発電所は11のボイラー及び8のタービンから構成されている）燃料は12km離れた地域で産出されているカッ炭を貨車で搬入し使用。従業員数は1,014名、主たる電力供給地域は近郊のアングレン、ヤンギアバード（110KV系統）の2都市とフェルガナ地方（220KV系統）である。

環境保全対策としては、サイクロン型集塵装置（集塵効率89%）だけで脱硫、脱硝装置は有してない。現在（1994年実績）の排出量はSO_x 2,000PPM 13,267T/年、NO_x 350PPM 906T/年、煤塵1,600MG/m³ 17,795T/年、CO 2,949T/年である。一方、「ウ」では大気汚染に係る年間排出量の規制がなされており、アングレンの場合、SO_x 24,822T/年、NO_x 2,942T/年、灰塵14,853T/年、CO 9,575T/年となっており、このため、アングレンでは、煤塵が規制基準をオーバーしており、国の規則により罰金を科せられている。

なお、当該地域では飛散した煤塵が強風時に舞い上がり大きな公害問題を生じている。このような状況のため、電気集塵装置の増設、煙突の建替、高層化（100M→240M）等の計画を有しているが未だ未実施。

1.1. 総合所見

（1）「ウ」国は、1991年の独立後、政治的には旧社会主義体制を色濃く残しつつ経済的には緩やかな市場経済体制への移行を目指して漸進的な経済改革を進めたが、本調査団の見るところ、現在当国は社会的には非常に安定しており、また首都タシケント及び近郊については、道路、居住環境、通勤手段等充実している印象を受けた。

更に国民の教育水準は非常に高く、当国の今後の発展及び協力の実施に対するポテンシャルは極めて高いと推察されたが、他方、協議実施の過程において市場経済に対する理解度の低さ、いわゆる官僚主義的硬直的対応・受身的対応も散見され、また市民一般のサービスの精神的欠如も見られ、旧社会主義体制は必ずしも直ちに払拭されるものではないという印象であった。

しかしながら我が国関係者に聞くと、これらの状況はゆるやかであるが、着実に改善されているとのことであった。

(2) 経済面を見ると旧ソ連邦下での分業体制と原料供給基地的な位置付けから、綿花、天然ガス等の原料生産に産業構造が特価しており、独立後カザフスタン、キルギスタンと同様経済のマイナス成長を経験したが近年GDP低下に底打ちの傾向が見られること、漸進的かつ健全な経済運営により貿易収支の改善が見られること、外資の進出も見られること等、今後の発展に大きな期待がもてるようになってきているとの印象であった。

(3) 経済・技術協力の実施という観点からすると、我が国に対する期待は極めて大きいと感ぜられる反面、対外経済省を除き、本調査団の接した実施官公庁では我が国の協力スキームがほとんど理解されていない感じであり、協力スキームへの理解の増進のための事業実施、協力プロジェクト数の拡大による経験を通じての理解の促進等が必要という印象を強く受けた。

なお、資金協力に対する期待が極めて高い反面、技術協力に対する理解度の低さという印象も各所で受けた。また旧社会主義国としての性格から、一般に情報の提供に極めて消極的であり、個別プロジェクトの実施を通じてのこの点の先方の意識改革も重要と考えられる。

(4) 具体的案件についていえば、エネルギー・電化省より提示のあった「アングレン石炭火力発電所環境対策」は、発電所自体は小型、旧式なるも周辺に与えている影響の大きさ等に鑑み、正式要請が提出された場合には、前向きに対応して然るべしと考える。この場合「ウ」国において実施している開発調査の実績の少なさ、エネルギー・電化省の有する計画性と実現性の高さ等を十分考慮に入れるべきと考える。

なお、今次協議において先方「ア」次官は本件実施に関し高い意欲を示したものの、「ウ」国全体としての我が国技術協力スキームに対する理解度の低さ、T/R作成等に関する経験の少なさ等からみて、本件に関し順調に正式要請がなされるかどうか、若干懸念されるところである。

(5) 繊維産業の育成に関する関連プロジェクトについては、繊維産業が当国における最重要産業の1つであることは論を待たないものの、協議を通じた印象では、先方が資金確保、現物援助に強い期待を表明した反面、開発調査実施に対する意欲、意義付けにかける面があり、現時点ではその対応には慎重を要する。

なお、関係者の理解によれば当国産の原綿は非常に高品質である反面、加工後の製品の品質は他国製品に比し劣っているとのことであり、将来、先方関係者が我が国技術協力スキームを理解し、品質向上を含む改善策、育成策を強く要請した暁には、前向きに対応して然るべしと考える。

(6) なお、今次調査においては、先方より特段の要望はなかったものの、「ウ」国の現状を鑑みるに、省エネルギー、工業統計等の分野に潜在的な需要が存すると考えられる。

II. 經濟概況

経 済 概 況

1. 主要経済指標

- ・ GDP : 46億ドル (93年世銀)
- ・ 一人当たりGNP : 980ドル (93年)
- ・ 工業生産高 (対前年同期比) 3.6% (93年)、1.0% (94年1~11月)
- ・ 農業生産高 (対前年同期比) 1.0% (93年)、▲1.0% (同上)
- ・ 消費者物価 (対前年同期比) 13.3倍 (93年)、16.5倍 (同上)

・ 主要生産品目 (93年)

- 生産 (10億KWh) : 49.1
- 石油生産 (百万ト) : 4.0
- 天然ガス生産 (10 億円 m^3) : 45.0
- 石炭生産 (百万ト) : 3.8
- 穀物生産 (千ト) : 2,098
- 綿花生産 (千ト) : 4,234

・ 貿 易 (注1)

- 輸 出 : 707百万ドル (93年)
944百万ドル (94年)
- 輸 入 : 947百万ドル (93年)
1,150百万ドル (94年)
- 対日輸出 : 37.6百万ドル (93年)
26.4百万ドル (94年)
- 対日輸入 : 20.1百万ドル (93年)
42.1百万ドル (94年)

- ・ 経常収支 : ▲63百万ドル (92年) ▲415百万ドル (93年) (注2)
- ・ 対外債務残高 : 143百万ドル (92年)、635百万ドル (93年) (注3)
- ・ 対外債務返済額 : 20百万ドル (92年)、108百万ドル (93年) (注4)
- ・ DSR (%) : 1.4% (92年)、5.5% (93年) (注4)

資料 : O E C F 援助研究、C I S 「統計月報」、I M F 等、(注1) 貿易額はC I S 域内取引は除く。(注2~4) 93年は11月時点での推定値。

2. 産業構造

旧ソ連邦では共和国間の分業体制が採られていたこと及びソ連計画経済のもとウズベキスタンは、綿花栽培とその関連産業に集中した経済発展を強いられてきた。(綿花モノカルチャ)

1991年の独立後はやや多様化の傾向にあり、綿花モノカルチャからの脱却を図っている。

① GDPに占める構成比 (Net Material Productベース: %)

| | 1992年 | 1993年 | 1994年 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 農業 | 41.4 | 30.8 | 33.4 |
| 工業 | 32.7 | 28.9 | 26.1 |
| 建設 | 11.3 | 11.7 | 10.3 |
| 運輸・通信 | 5.5 | 5.0 | 3.7 |
| 商業、調達、その他 | 9.2 | 23.6 | 26.5 |
| 全体 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

出所: 「C I S統計速報」、 「IMF ECONOMIC REVIEW 1994:Uzbekistan」 (IMF Mar.94)

② 部門別投資比率 (%)

| | 1992年 | 1993年1月~9月 |
|-------|-------|------------|
| 工業 | 24.0 | 29.1 |
| 農業 | 14.1 | 13.5 |
| 建設 | 0.8 | 0.8 |
| 運輸・通信 | 4.9 | 5.6 |
| 住宅 | 31.6 | --- |
| その他 | 24.6 | 50.9 |
| 全体 | 100.0 | 100.0 |

出所: 「IMF ECONOMIC REVIEW 1994:Uzbekistan」 (IMF Mar.94)

③就業構造（万人）

| | 1990年 | 1991年 | 1992年 |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 工業 | 120.1 | 121.3 | 120.2 |
| 農林水産業 | 312.0 | 355.5 | 365.6 |
| 建設 | 71.0 | 68.0 | 58.9 |
| 運輸・通信 | 40.2 | 36.9 | 35.6 |
| 商業、外食産業、補給等 | 45.9 | 51.2 | 47.6 |
| 情報・コンピューターサービス | 1.4 | 1.2 | 0.8 |
| 保健、衛生、社会保障 | 46.8 | 48.6 | 48.9 |
| 教育、文化・芸術 | 99.8 | 95.0 | 98.2 |
| 科学 | 10.3 | 10.1 | 7.7 |
| 金融、保険等 | 2.3 | 2.5 | 2.5 |
| 行政機関 | 11.9 | 12.6 | 11.3 |
| その他物的生産部門 | 13.0 | 12.9 | 13.4 |
| 非物的生産分野における日常生活サービス | 19.4 | 16.6 | 16.4 |
| 総就業人口 | 794.0 | 832.3 | 827.1 |

出所：「C I S統計年鑑 1993年」（C I S統計委員会1994）

3. ウズベキスタンの経済改革の現状

①マクロ経済の安定化

・IMFとのSTF交渉の結果、IMFは95年1月30日に「ウ」に対し7,400万ドルのSTF供与を決定。今後の経済改革の進展によってはさらにほぼ同額の第2トランシェを供与予定。総合改革プログラムを世銀の指導のもと作成中。

②市場

(ア) 価格自由化

・1992年7月に独占禁止法が採択され350企業が独占企業と規定。

上記企業の卸売価格は政府統制下にある。

消費者価格については小麦、砂糖、バター等の基礎的必要物資は価格統制。

ただし、他の商品についても企業の利潤率の上限を定める等間接的価格統制を行っている。

(イ) 貿易自由化・外貨管理等

・94年1月大統領令「経済改革の一層の深化、私有財産保護、企業活動振興に関する措置について」によれば、ウズベキスタンは95年中央には輸入税を全廃する予定といわれている。

・輸出ライセンス品目-----石油、天然ガス、綿実等26品目（クォータ制）

・輸出税-----65品目に5～50%（芸術品のみ100%）

・輸出禁止品目-----砂糖、バター等の食料品

・通貨政策・外貨管理-----1993年11月、ルーブル圏離脱、暫定独自通貨スム＝クーポン使用、1994年7月1日独自通貨スム導入。
導入時1\$ = 7スムが95年7月現在1\$ = 約30スム
(公定レート)

輸出の外貨収益のうち30%は中央銀行の公定レートによる売却義務あり。

(ウ) 賃金自由化

・最低賃金及び年金は数カ月ごとにインフレ調整される。

③所有

(ア) 民営化基本方針

・小規模民営化は1992年後半より施行された「非国家化・民営化及び貸貸法」により開始。

・1994年1月大規模民営化についての大統領令「経済改革の一層の深化、私有財産保護、企業活動振興に関する措置」で基本方針決定。

- ・ 1995年1月大統領令「民間部門育成及び発展促進について」民間部門育成に1995年の経済改革の焦点を当てる方針表明。

(イ) 民営化の形態及び実態等

- ・ 優先分野は工業及び建設部門
- ・ 小規模企業は入札、大規模なものは公開型株式会社に再編され財務省、国有財産管理国家委員会、中央銀行が「ゴスフォンド」を設立、改組される企業の株式発行等の管理
- ・ 民間企業と国営企業の平等の保証、農業関連・消費物資あるいは建材製造業等の新興民間企業に対する課税優遇措置。
- ・ 1995年末までの国内生産に占める民間シェアを60%までに高めることを目標。
(1994年のGDP比に占める民間部門シェアは約20%：EBRD)
- ・ 1994年4月時点で11000以上の民間企業が登録、56万haの農地が民間農場にリース。
- ・ 国営企業のリストラについては、民営化過程における内部性質、ソフトな予算制約の継続、企業競争の低さ等が相まって遅れている。

④政府

(ア) 独立通貨・・・② (イ) 通貨政策・外貨管理政策参照

(イ) 税制

- ・ 税制改革は92年以降数次にわたり実施。
- ・ 法人税：基本税率18%（対象企業の業種により12%～35%の幅がある）
- ・ 付加価値税：20%
- ・ 個人所得税：15～50%の累進課税
- ・ 消費税：5～130%の範囲
- ・ 外貨交換受取：15%の課税

(ウ) 銀行制度等

- ・ 88年、二層銀行制度導入。91年2月銀行及び銀行活動に関する共和国法（銀行法）採択、92年3月中央銀行法制定。
- ・ 中央銀行は銀行活動に対しライセンス制を敷き、商業銀行の最低定款資本金額を定めているほか、一般商業銀行は定款資本金を越える自然人からの預金受付はできない。
- ・ 国民銀行：4、商業銀行：40以上、企業融資の90%は工業建設銀行、農工銀行により占められている。
- ・ 92年1月、株式市場設立
- ・ 93年9月、保険及び株式市場に関する法律採択

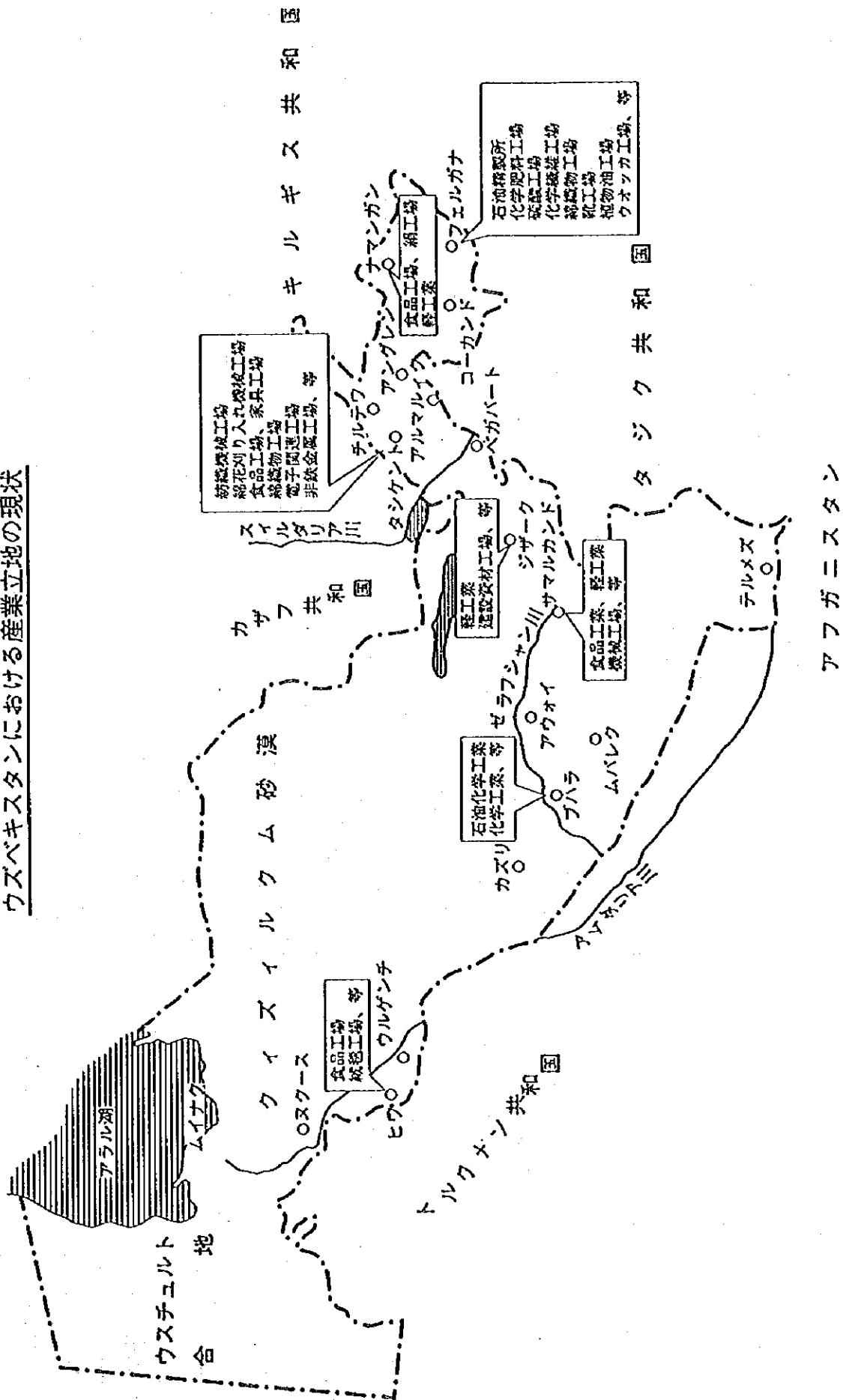
(エ) 外資政策

- ・ 91年6月外国投資法制定（93年7月、94年5月改正）
- ・ 活動の規制なし。許可は必要。投資先として奨励されている分野としては金融、農業事業、資源開発、観光、テレコム。
- ・ 具体的保護・優遇措置としては、10年間の創始者条項、海外送金の制限なし（ただし10%課税）。外貨獲得に15%課税。消費財生産を行う外資50%以上の合弁企業については登記から5年間の外貨収入税、外貨の義務的売却免除。銀行業、外資30%以上の合弁企業の場合の5年間減免。50%以上の場合にはさらなる減免。

出所：中東欧に及び旧ソ連における現状分析の視点（社）ロシア東欧貿易会

：OECD 94開発援助研究

ウズベキスタンにおける産業立地の現状



出所：ECFA中央アジア諸国開発調査報告書より

Ⅲ. 国際機関等の支援状況

国際機関等の支援状況

(1) IMF

「ウ」は1992年9月にIMF加盟となったが、加盟当初はIMFの金融・価格政策中心の急進的な経済改革は「ウ」の実情に合わないとの考えから一線を画していた。この結果、IMFは、「ウ」を「経済改革に消極的」との評価からローン拠出を控えていたが、「ウ」は自国通貨（スムクーポン）の導入（1993年11月）に伴う金融面での援助・協力が必要となりIMFに積極的にアプローチし始める。IMFも同国の安定した経済運営を評価し、その後95年1月に7400万ドルのSTFを供与。今後の経済改革の進展を見つつほぼ同額の供与の予定あり。

(2) 世銀

「ウ」の世銀加盟はIMFと同時期であり、92年8月にはタシケントに中央アジア地域本部を開設。世銀との協力関係は順調に進展。以下の支援策が決定若しくは予定されている。

- ・1993年には中央銀行業務電算化等の制度確立技術援助プログラムに21百万ドルの融資実施。

- ・1995年3月の西側先進国との会議で総額9億ドルの支援が決定された。内訳は技術支援45百万ドル、国際収支改善支援3億ドル、投資・輸出信用5億8千万ドルとなっている。（「インターファクス」1995年3月）

(3) EBRD

- ・1993年—96年、約6千万ドルの与信枠の設定（中小企業による輸出志向プロジェクト支援）

- ・資本金を要する小企業向け信用・出資枠255万ドル

- ・技術支援目的120万ドル等の援助が行われている

- ・金鉱山開発を目的とした合弁会社（Zarafshan-Newmont）の金鉱開発資金向け約1億ドル等

(4) EC

- ・食料生産、加工・流通部門における人的資源開発援助、地域銀行トレーニングセンターの設置などの技術協力が中心

(5) ドイツ

93年には農業関係プロジェクト等に1.5百万DM（有償借款）技術支援1.33百万DM（無償）、94年には総額55百万DMの供与が予定。

(6) その他、米国、英国、仏国は技術協力が中心であり、トルコ、米国、中国、スイス、インド、インドネシア等から輸出信用供与協定に基づき6億ドル相当の食料、医薬品、機械機器などが「ウ」向けに供与（1992年—93年）

IV. 纖維產業事情

繊維産業事情

綿の産業構造

(1) 軽工業開発プランの概要及び繊維産業（綿糸・綿織物）の同計画における位置付け

ウズベキスタン共和国は、農業国であり、同国の経済安定化、ゆるやかな市場経済化を実現するためには、軽工業の産業の効率化、合理化が極めて重要である。特に同国には世界有数の産出高を誇る原綿があり、綿産業の振興は重要視されている。タシケント市、ブハラ市、アンジジャン市、フェルナガ市には綿紡績・織布コンビナートがあり、また、中小企業も存在している。これら綿紡績産業は、UZBEKLEGPROM公団（軽工業省に相当）が監督している。同公団は、91年5月に工業関係の組織改革の法律の施行により、軽工業省を改めたものである。公団の運営は15名の評議委員とその下部にある11名からなる理事会によって行われている。公団は、綿産業をはじめ絹繊維、織物、メリヤス、縫製産業、子供服、陶器、皮革、人工皮革等の軽工業品全般を統括する機関である。同公団は、原料資源である原綿を効率的に加工し、綿繊維の加工度を現在の10%程度から2000年までに25%にまでUPすることを目標としている。

(2) 綿紡績産業の現状

ウズベキスタンは、原綿を年間500万トン生産する綿花の一大生産地であり繊維換算130万トンの綿を産出する世界第5位の綿生産国である。綿の輸出は対旧ソ連域内輸出の3割強、対外輸出の8割程度を占めているものの、国内で生産された綿繊維の加工度は10～15%程度であり、現在残り85～90%が未加工のまま輸出されており、綿布、二次製品を輸入している状況にある。ちなみに、1990年のウズベキスタンの旧ソ連邦の綿製品生産高に占める割合は、原綿が60.9%、綿糸が62.4%と高くなっているが、綿布はわずかに6.0%にとどまっている。このため、ウズベキスタンは、綿産業を重要産業と捉え、綿の加工を中心とする紡績、綿布、仕上げまでを自国で行えるよう強化を図りたいとしている。そのことは、既存工場において綿帽子、ニット、ソックス、織物原料等綿製品全体の加工度を向上させるため、新鋭設備の導入、代替等により工場の近代化を促進し、生産量の増加及び品質の向上を図ろうとしている。

(3) ウズベク綿加工・供給公社の現状と将来の株式会社化の動向

（国家の保有株式持分等）

「ウ」国は、ゆるやかな市場経済化を実施しており、国営工場は徐々に民営化されていくと思われる。株式会社化の動向の例については関連施設視察概要のタシケント縫製公団を参照

V. 電力事情

電力事情

ウズベキスタンの最初の電力システムは、チチリック川の溝水事業により造られたボズ灌漑用運河に作られたボズ水力発電所と30の変電所、6KVの送電網から生まれた。1940年代の「ウ」の一人当たり電力出力は72.5Kw/hであり、1960年には684.6Kw/hになり1990年初には2220Kw/hとなっている。

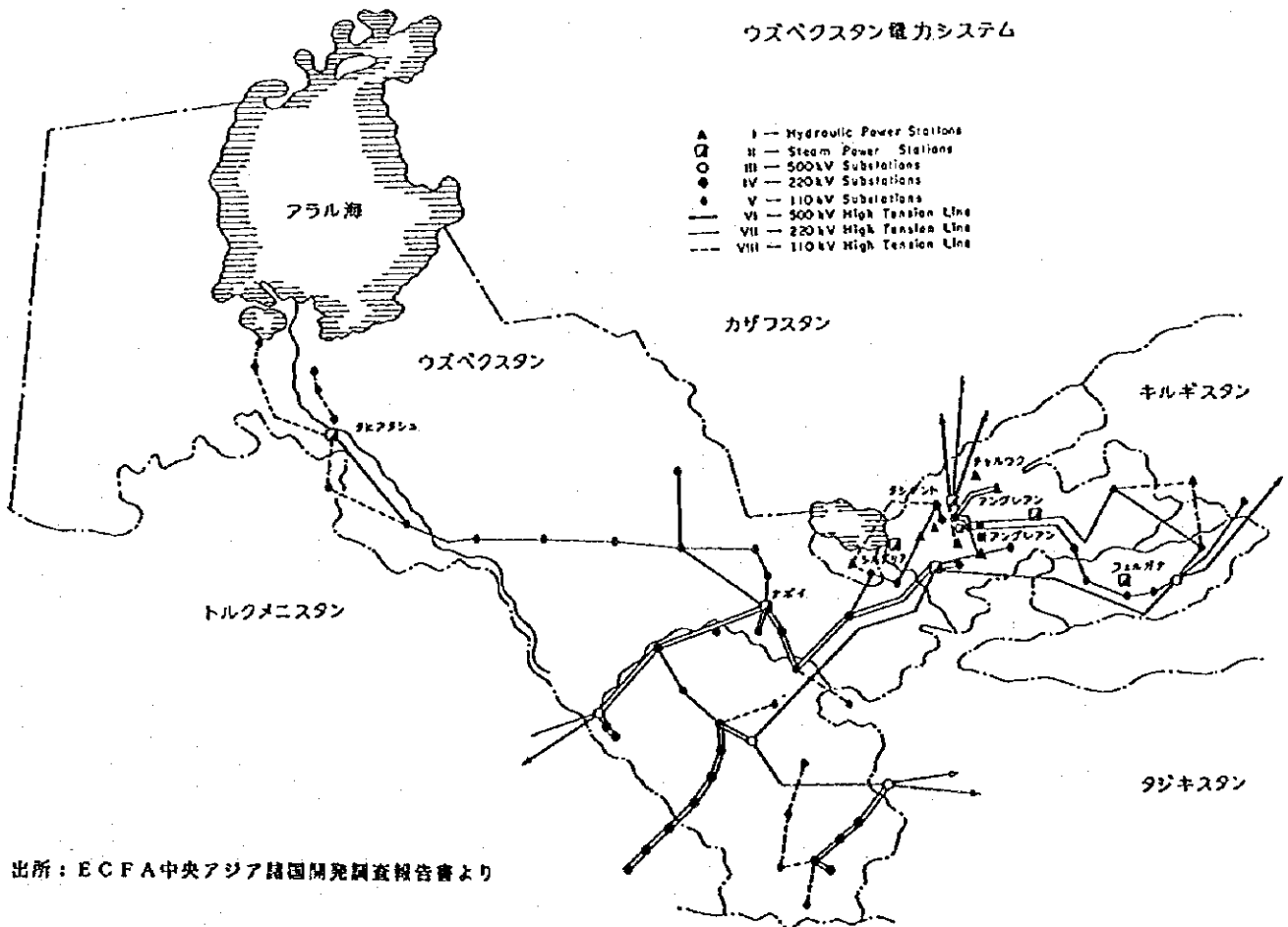
現在の「ウ」の電力設備能力は1100万Kw/hであり、年間総出力可能量は約520億Kwhとなっている。送電線網の総延長は22万4千Km以上でありその中で500kvが1700Km、220Kvについては4700Km以上となっている。

変電設備能力については4120MVAとなっている。

大規模火力発電所としてはシルダリア発電所(300MW×10)、タシケント(総発電量1900MW)、ノバアングレン(300MW×6)が有り、水力発電所としてはチャルワク発電所(600MW)等がある。

また、220Kv~550Kvのウズベキスタン送電線網は中央アジア統一電力システムとしてタジキスタン、トルクメニスタン、キルギスタン、カザフスタンの国々と融通し合っており、そのうちの全設備容量の45%がウズベキスタンで占められる。

今後、2000年までにタヒアタシェ火力発電所の500MWの能力拡張計画、タリマジャン火力発電所の新設等の計画がある。



VI. (参考) 収集資料

(参考) 収集資料等

- ・ THE TASHIKENT TEXTILE MILL
- ・ UZBEKISTAN POWER INDUSTRY
- ・ ANGREN THERMAL POWER STATION

シリーズ企業活動の法的基盤 (以下図書館)

(1) (ウズベキスタン対外経済活動法)

ЗАКОНОДАТЕЛЬСТВО
РЕСПУБЛИКИ УЗБЕКИСТАН
О ВНЕШНЕЭКОНОМИЧЕСКОЙ
ДЕЯТЕЛЬНОСТИ

(2) (ウズベキスタン農業 (農地) 法)

ЗЕМЕЛЬНОЕ ЗАКОНОДАТЕЛЬСТВО
РЕСПУБЛИКИ УЗБЕКИСТАН

(3) (ウズベキスタンにおける企業の創設と活動の組織)

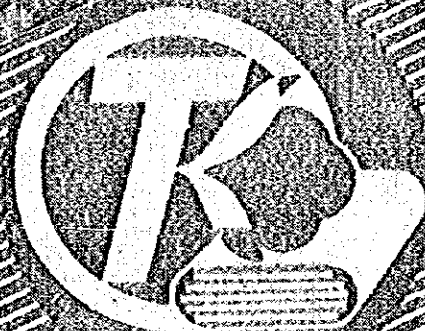
СОЗДАНИЕ И ОРГАНИЗАЦИЯ
ДЕЯТЕЛЬНОСТИ ПРЕДПРИЯТИЙ
В УЗБЕК СТАНЕ

(4) (ウズベキスタン共和国関税法)

ТАМОЖЕННОЕ ЗАКОНОДАТЕЛЬСТВО
РЕСПУИКИ УЗБЕКИСТАН

(5) タシケント市内地図

«ТОШКЕНТ ТУҢИМАЧИЛИК КОМБИНАТИ»
«ТАШКЕНТСКИЙ ТЕКСТИЛЬНЫЙ КОМБИНАТ»
«THE TASHKENT TEXTILE MILL»



ТОШКЕНТ ИП ГАЗЛАМА ИШЛАБ ЧИҚАРИШ БИРЛАШМАСИ «ТОШКЕНТ ТЎҚИМАЧИЛИК КОМБИНАТИ»

Меҳнат Қизил Байроғи ордени нишондори Тошкент тўқимачилик комбинати Ўзбекистондаги йигирилган ип, ип газламалар ва тикувчилик иплари ишлаб чиқарувчи энг йирик корхона ҳисобланади. Мана, комбинат дастлабки маҳсулотини чиқарганига ҳам 60 йил бўлибди.

ТАШКЕНТСКОЕ ПРОИЗВОДСТВЕННОЕ ХЛОПЧАТО- БУМАЖНОЕ ОБЪЕДИНЕНИЕ «ТАШКЕНТСКИЙ ТЕКСТИЛЬНЫЙ КОМБИНАТ»

Ташкентский ордена Трудового Красного Знамени текстильный комбинат является крупнейшим в Узбекистане предприятием по производству пряжи, хлопчатобумажных тканей и швейных ниток. Вот уже прошло 60 лет с тех пор, как комбинат выпустил свою первую продукцию.

THE TASHKENT INDUSTRIAL COTTON ASSOCIATION «THE TASHKENT TEXTILE MILL»

The Tashkent textile mill by the Order of Red Banner of Labour is the biggest enterprise in Uzbekistan which produces the cotton fabrics, sewing threads and knitted yarn. 60 years have passed since the mill produced its first metres of cotton fabric.

Комбинатнинг умумий саҳни 102 гектар ерни эгаллайди; унинг таркибида тўртта ип йигирув ишлаб чиқариши, тўртта тўқув фабрикаси, янгиланган ишлов бериш ишлаб чиқариши, ип фабрикаси мавжуд бўлиб, уларнинг бино ва иншоотлари саҳни 19,6 га ерни эгаллайди.

Комбинатнинг асосий сармояси 3906,9 млн. сўми ташкил қилади.

80-йилларнинг бошида комбинат республика ҳукуматининг қарорига биноан ўз шохобча корхоналари қурилишини бошлади ва бош корхонани техник жиҳатдан қайта жиҳозлашни давом эттирди. Бунда янги техника ва технологиядан фойдалана бошланди, ишлов бериш корхонаси хорижий фирмаларнинг технологик ускуналари билан жиҳозланди.

Комбинат занимает территорию общей площадью 102 гектара; в его составе: четыре прядильных производства, четыре ткацких фабрик, обновленное отделочное производство, ниточная фабрика. Общая площадь под застройками их зданий и сооружений составляет 19,6 га.

Основной капитал комбината составляет 3906,9 млн. рублей.

В начале 80-х годов комбинат по решению правительства республики начал строительство филиалов и продолжил техническое перевооружение головного предприятия: внедрялись новая техника, технология, отделочное производство было оснащено технологическим оборудованием зарубежных фирм. Все эти годы комбинат непрерывно увеличи-

The mill occupies the territory with total area about 102 hectares. It consists of four spinning mills, the four weaving factories, the renewed trimming mill and the threading factory. The aggregate space under all buildings and constructions is 19,6 hectares.

The basic capital of the mill is 3906,9 mln. roubles.

In early 80-ies according to the resolution of government the mill has begun the construction of branches and continued the technical re-equipment of leading enterprise: new technics, technology were inculcated, the trimming mill was fitting out with technological equipment of foreign firms. During all these years the mill has been increasing the volume of output uninterruptedly.

Тошкент ип газлама ишлаб чиқариш бирлашмаси «Тошкент тўқимачилик комбинати»нинг бош директори Б. К. Иргашев.

Генеральный директор ТРНВО «Ташкентский текстильный комбинат» Иргашев Б. К.

General director of TRNVO «Tashkent textile mill» Irgashev B. K.



Бутун йиллар давомида комбинат ишлаб чиқариш ҳажмини тўхтовсиз ошириб борди.

Ҳозирга келиб комбинатнинг ўрнатилган ускуналар бўйича умумий қуввати қуйидаги кўринишда:

— йигирув урчуқлари — 263,5 минг дона;

— тўқув дастгоҳлари — 5437 дона;

шу жумладан мокисиз дастгоҳлардан

СТБ типидегиси — 450 дона;

АТПР типидегиси — 2077 дона;

мокили дастгоҳлардан

АТ типидегиси — 2910 дона;

— чийратувчи (эшувчи) урчуқлар — 42,3 минг дона;

— босма машиналари — 21 дона;

Бир йиллик тайёр маҳсулот миқдори қуйидагича:

Йигирилган ип газламалар — 14600 тонна;

дағал газламалар —

100 млн. кв. м;

тайёр ип газламалар —

152 млн. кв. м;

тикувчилик иплари —

260 млн. шартли галтак.

Комбинатда расмлари 135 хилдан ортиқ газламалар чиқарилади, расмларни алмаштириш йилига 55 фоизни ташкил қилади.

вал объемы производств.

В настоящее время общая мощность комбината по установленному оборудованию составляет:

— прядильных веретен — 263,5 тыс. ед;

— ткацких станков — 5437 ед., в том числе бесчелночных станков

типа СТБ — 450 ед.,

типа АТПР — 2077 ед.,

челночных станков типа АТ — 2910 единиц,

— крутильных веретен — 42,3 тыс. вер.,

— печатных машин — 21 ед. Годовой выпуск готовой продукции составляет:

по пряже хлопчатобумажной — 14600 тн.,

по суровым тканям — 100 млн. кв. м.,

по готовым х/б тканям — 152 млн. кв. м.,

по ниткам швейным — 260 млн. усл. кат.

На комбинате производится тканей по рисункам более 135 видов, ежегодная обновляемость рисунков составляет 55 процентов.

Введение в строй высокопроизводительных прядильных машин, нового оборудования подготовительных отделов прядильного и

Nowadays the total capacity of the mill on the installed equipment is:

— spinning spindles — 263,5 th. units;

— weaving looms — 5437 units including non-shuttled looms; STB-type — 450th;

АТПР-type — 2077th;

АТ-shuttle type looms — 2910 units;

— twiner spindles — 42,3 th. units;

— printing machines — 21 units;

Annual output of finished production constitutes:

in cotton yarn — 14600 tons,

in unbleached fabrics — 100 mln. square m.,

in sewing threads — 260 mln. conventional reels,

in finished cotton fabrics — 152 mln. sq. m.

The mill produces fabrics in more than 135 kinds of various pictures and the annual renovating of pictures makes 55 per cent.

The putting into commission of highly productive spinning machines, the brand new equipment of preparatory sections of spinning and weaving productions, up-to-date complete technical re-equipment of all acting factories made it possible



Ишлаб чиқаришга юқори самалари йиғирув машиналари ўрнатилиши, йиғирув ва тўқув ишлаб чиқаришлари тайёрлов бўлимларида янги ускуналарнинг ва СТБ типидagi замонавий тўқув дастгоҳларининг ишга туширилиши, мавжуд фабрикаларни техник жиҳатдан тўла қайта қуролланиши комбинатга ўз маҳсулот турларини янгилаш ва дастурхон, чойшаб, парда, дэрларда ва дераза пардаларига ишлатилувчи энли, рақобатбардош газламалар ишлаб чиқариш имконини берди. Буларни ишлаб чиқаришда 200 артикулдаги эркак ва аёллар кўйлакликлари, костюмлик газламалар чиқаришда бўлганидек комбинатнинг расомлари яратган ва бадий техник кенгаши томонидан маъқулланган 50 дан ортиқ расмлар хилма-хил рангдаги комбинацияларда ишлатилади. Бундан ташқари сурп, сатин ва бўз гуруҳларига оид кенг турдаги газламаларни чиқариш билан бирга фланель, «Ором», «Умид» кўйлаклик матолари, енгил таралган мата ва бошқалар чиқариш ҳам йўлга қўйилган.

Комбинат ўз маҳсулотларини республикамиз ва МДХ республикаларидаги 800га истеъмолчиларга сотади. Бирлашма хорижий мамлакатлардан Франция, Италия, Буюк Британия, Испания, Сурия, Мўғулистон каби юртлар билан экспорт алоқалари ўрнатилган.

ткацких производств, современных ткацких станков типа СТБ, полное техническое перевооружение действующих фабрик позволили комбинату обновить ассортимент и наладить выпуск широкополотенных конкурентоспособных тканей, идущих на изготовление скатертей, простынь, гардин, штор и занавесей. В их производстве, как и в выпуске сорочечных, плательных, костюмных тканей 20-артикулов, используется более 50 различных рисунков в разнообразных цветовых комбинациях, разработанных художниками комбината и одобренных художественно-техническим советом. Кроме того наряду с выпуском широкого ассортимента тканей ситцевой, сатиновой, бязевой групп освоено выпуск таких тканей как фланель, ткани плательной «Ором», «Надежда», легкой гребенной ткани и др.

Свою продукцию комбинат реализует 800 потребителям своей республики и республикам СНГ. Экспортные поставки объединения осуществляются во Францию, Италию, Великобританию, Испанию, Сирию, Монголию.

Для оздоровления трудящихся на комбинате имеются:

— поликлиника на 1000 посещений в день;

— стационары на 400 коек, состоящие из 8-ми отделений.

Для оказания первой медицинской помощи на каждом произ-

to renew the assortment and adjust the production of wide-linen competitive fabrics which are intended for making such things like tableclothes, sheets, blinds and curtains. In the output of shirt, dress and shirt-costume fabrics of 20 articles, as well as in production of above-mentioned stuff, there are more than 50 different pictures in various colour combinations which were invented by the painters of the mill and approved by the Art-Technical Council. Besides that, side by side with output of wide assortment of printed cotton fabrics, sateen and fabrics of coarse calico groups, the production such fabrics as flannel, clothing one «Orom» and «Nadezhda»— which is light card fabric, and others was assimilated.

The mill sells its production not only to 800 consumers in the native republic, but to the CIS-countries and overseas as well. Export deliveries of the Association are accomplished France, Italy, Great Britain, Spain, Syria and Mongolia.

For bringing the toilers into a healthy state in disposition of the mill there are:

— polyclinic intended for 1000 visitations in a day;

— hospitals intended for 400 places (beds), which consist of 8 departments.

For rendering the first medical aid on every factory the health-centres were created.

There are doctor's consulting



Меҳнаткашларни соғломлаштириш учун комбинатда:

— бир кунда 1000 кишини қабул қила оладиган поликлиника;
— 8 бўлинмадан иборат 400 ўринлик стационарлар ишлаб турибди.

Дастлабки медицина ёрдами кўрсатиш учун ҳар бир корхонада соғломлаштириш пункти ишлаб турибди.

Поликлиника қошида диагностика (ташҳис), кардиология, аёллар консултацияси, кулоқ-томоқ, кўз касалликлари, физиотерапевтика ва бошқа хоналари мавжуд.

Бундан ташқари 130 ўринлик муолажагоҳ (санаторий-профилакторий) ҳам фаолият кўрсатмоқда; унда йил давомида 1690 киши ўз саломатлигини мустақамлаши мумкин.

Комбинат ишчиларининг фарзандлари учун 19 та мактабгача тарбия муассасаси бўлиб, улар ўз бағирларига 2560 та болани олган; улар бу даргоҳларга bepул қатнайдилар. Бундан ташқари болаларнинг дам олишлари учун Бўстонлик тоғларида 1 смееада 440 ўринлик оромгоҳ мавжуд бўлиб, бутун ёз давомида у ерда 1320 бола соғлом дам олиб келади.

Тўқимачилар ва уларнинг oilалари учун Тошкент денгизи бўйида бир варакайга 660 киши дам олиши мумкин истироҳат маскани бино қилинган.

Маданий жиҳатдан дам олиш учун таркибида 20 та турли тўга-

водстве созданы здравпункты.

При поликлинике функционируют кабинеты диагностики, кардиологии, женская консультация, ЛОР, окулиста, физиотерапевтические и другие.

Кроме того действует санаторий-профилакторий на 130 мест, где в течение года поправляют свое здоровье 1690 человек.

Для детей работников комбината имеются 19 дошкольных учреждений на 2560 человек; содержание детей в них — бесплатное. Кроме того для отдыха детей имеется пионерский лагерь в горах Бостанлыка на 440 мест в смену, за летний период проходит оздоровление 1320 детей текстильщиков.

Для отдыха текстильщиков и их семей оборудована зона отдыха в районе Ташкентского моря, где одновременно могут отдыхать 660 человек.

Для проведения культурного досуга имеется Дворец Духовности, где действует 20 различных кружков, из которых 13 — детских.

При комбинате действует спортклуб «Текстильщик», где работают спортивно-оздоровительные группы по таким видам спорта, как плавание, легкая атлетика, городки; теннис, ручной мяч. В них занимаются 1000 человек текстильщиков.

Комбинат имеет свое аграрное хозяйство, земельный участок ко-

rooms, diagnostics, cardiology rooms, maternity welfare clinic, therapist, oculist, the physiotherapy room and many others functioning in polyclinic attached to the mill.

Furthermore, the sanitary-preventive clinic intended for 130 places is acting and during the year it permits to restore health of 1690 toilers.

For the toilers' children there are 19 pre-school institutions for 2560 places, the maintenance of children there is out of charge. In addition to this, for the full-value rest of children, the holiday-sanitary camp in mountains of Bostanlyk was built. It is intended for 440 places in a shift and during the summer period about 1320 children of textile-workers rendered more healthy there.

For the benefit of textile-workers and their families, the zone of rest near to the Tashkent Sea was arranged. About 660 toilers at the same time can have a rest there.

There is a Palace of Culture and Spiritual Life for spending a cultural leisure where 20 different circles (among which 13 are intended for children) are acting.

There is also a sport-club «Textile-worker» attached to the mill. It contains sports-sanitary groups specialized in swimming, track-and-field athletics, gorodki (kind of skittles), tennis, handball. About 1000 textile-workers devote themselves to



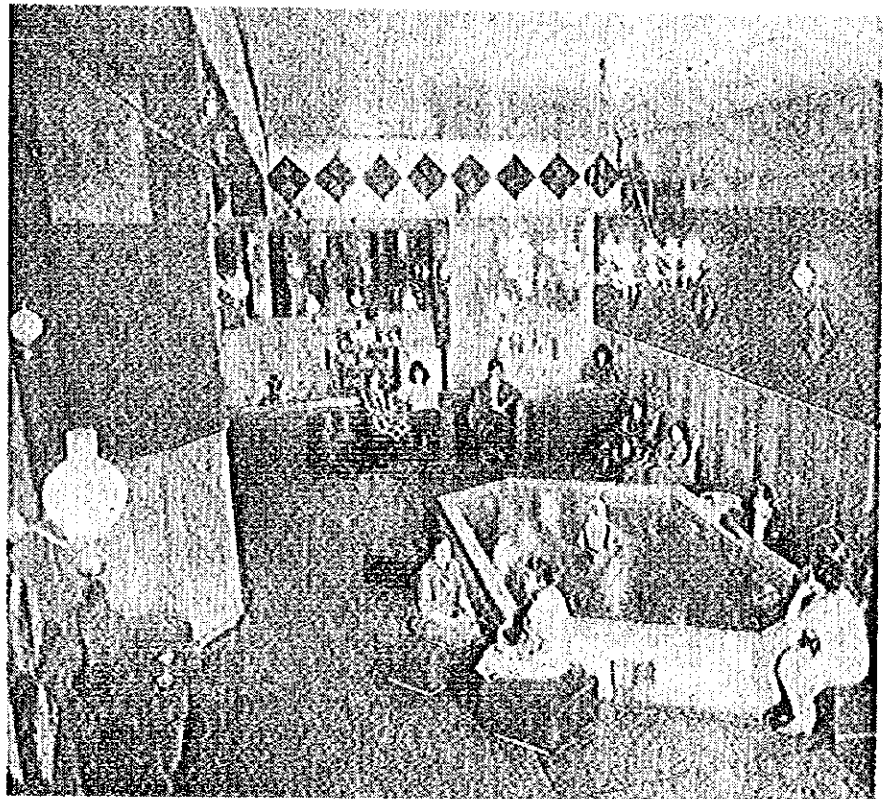
раи чиқлаб турган Маънавият Саъдийи маъжуд. Тугаракларининг 13 таси болалар тизмагида.

Комбинат қошида «Тўқимачи» спорт клуби фаолият кўрсатамоқда. У ерда спорт-соғломлаштириши турухлари спортнинг сузиши, енгил атлетика, городки, теннис, ҳўл тўли турлари билан шуғулланадилар. Спорт билан машғул тўқимачилар сони 1000 кишидан ортиқ.

Комбинат қошида яна «Тўқимачи» хўжалиги ҳам маъжуд бўлиб, унинг 842 га ери бор; шундан 487 га экин экиладиган ерлардир. Хўжалиги бирлашмани гўшт, сўт, қишлоқ хўжалиги маҳсулотлари билан қисман таъминлаб туради.

Яқин келажакда ип чиқариш ишлаб чиқариш тизимини тўла реконструкция қилиш, уни «Заурер-Альма» фирмасининг янги тростил-чийратиш автоматлари ва «Тисс» фирмасининг (Германия) бўйаш аппаратлари билан қуролантирган ҳолда дунё стандартлари даражасидаги иплар чиқариш мўлжалланмоқда. Ипларнинг сифатларини яхшилаш учун 3-сон ип йигириш корхонасида хорижий фирмаларнинг ип йигириш тизими ўрнатилади. Бу мақсадларни амалга ошириш учун 30 млн. доллар маблағ керак бўлади.

Шу билан бирга ишлаб турган йигирув-тўқув фабрикаларини техник жиҳатдан ҳайта қуроллан-



Дам олиш хонаси.

Комната отдыха.

Rest room.

того составляет 862 га, в том числе сельхозугодий 487 га. Оно частично обеспечивает объединение мясом, молоком, сельскохозяйственными продуктами.

На ближайшую перспективу запланирована полная реконструкция всей производственной цепочки по выпуску ниток на уровне мировых стандартов с оснащением производства новыми тростильно-крутильными автоматами фирмы «Заурер-Альма» и красильными аппаратами фирмы «Тисс» (Германия). Для улучшения качества ниток на прядильном производстве № 3 будет внедряться прядильная цепочка зарубежных фирм. Для этих целей необходимо 30 млн. долла-

sports.

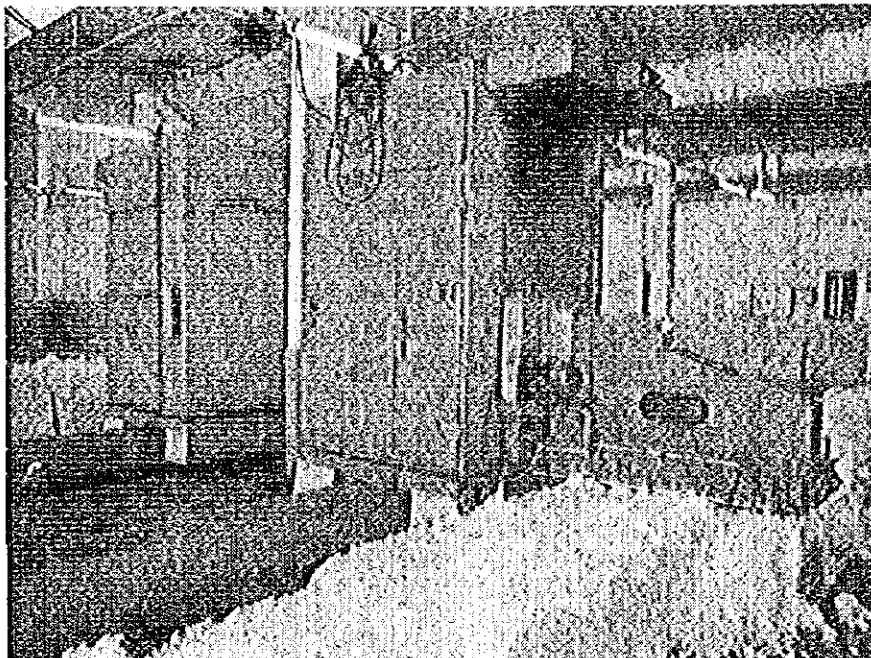
Besides, there is a state farm «Textile-worker» which also attached to the mill. Its plot of land contains 862 hectares, including agricultural land (487 hectares). The state farm is partly providing the Association with meat, milk and agricultural vic-

tuals. The nearest perspective is complete reconstruction of whole industrial chain-drive on the output of threads on the world's standards level with the equipment of production with new twiner machines by «Zaurer-Alma» firm and with dye-stuff preparations by «Tiss» firm (Germany). For the better quality of threads on the spinning production No. 3, the spinning chain-

Той пахта билан таъминловчи АП-18
автоматик машина.

Питатель кин АП-18

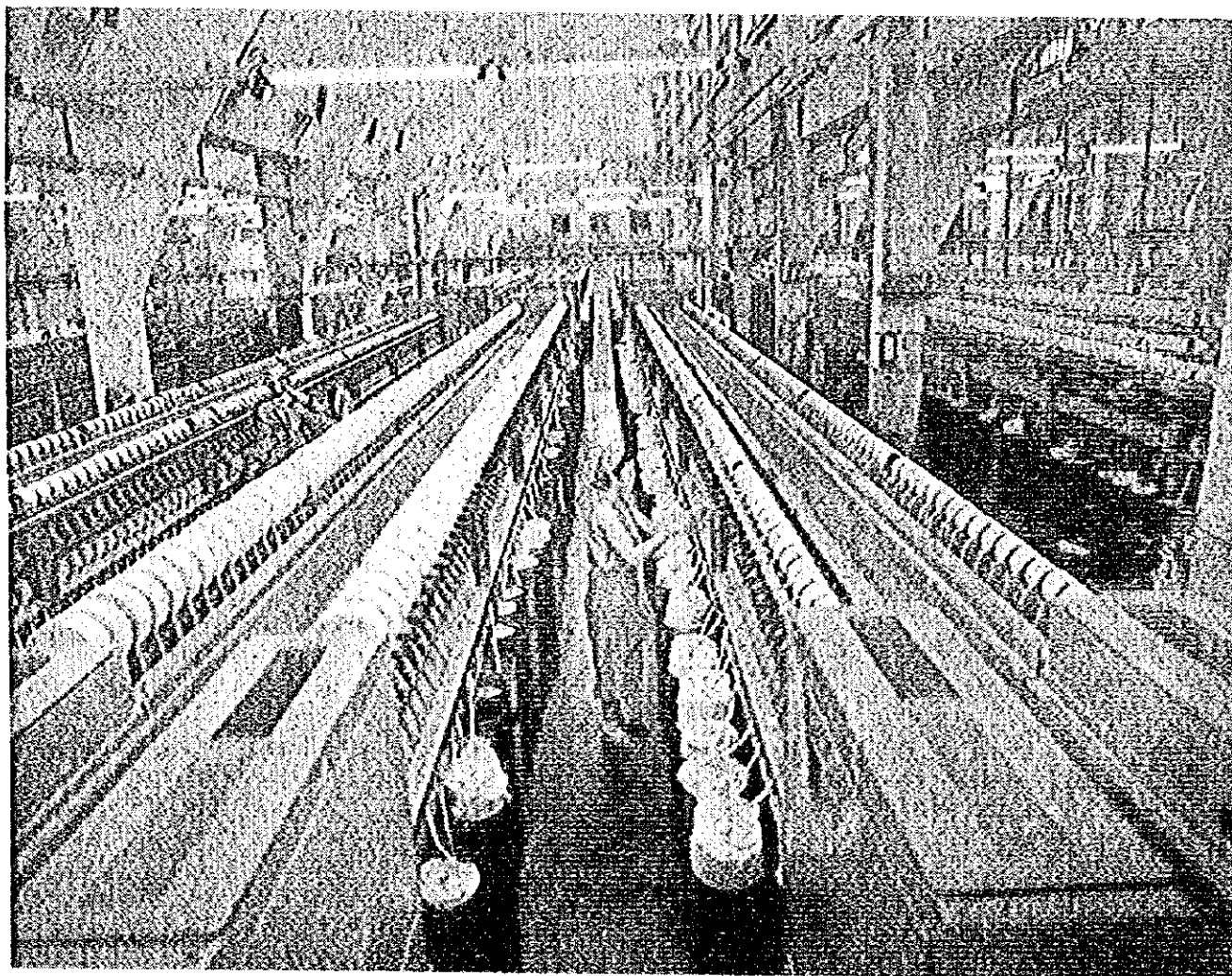
The feeder of bales AP-18 type

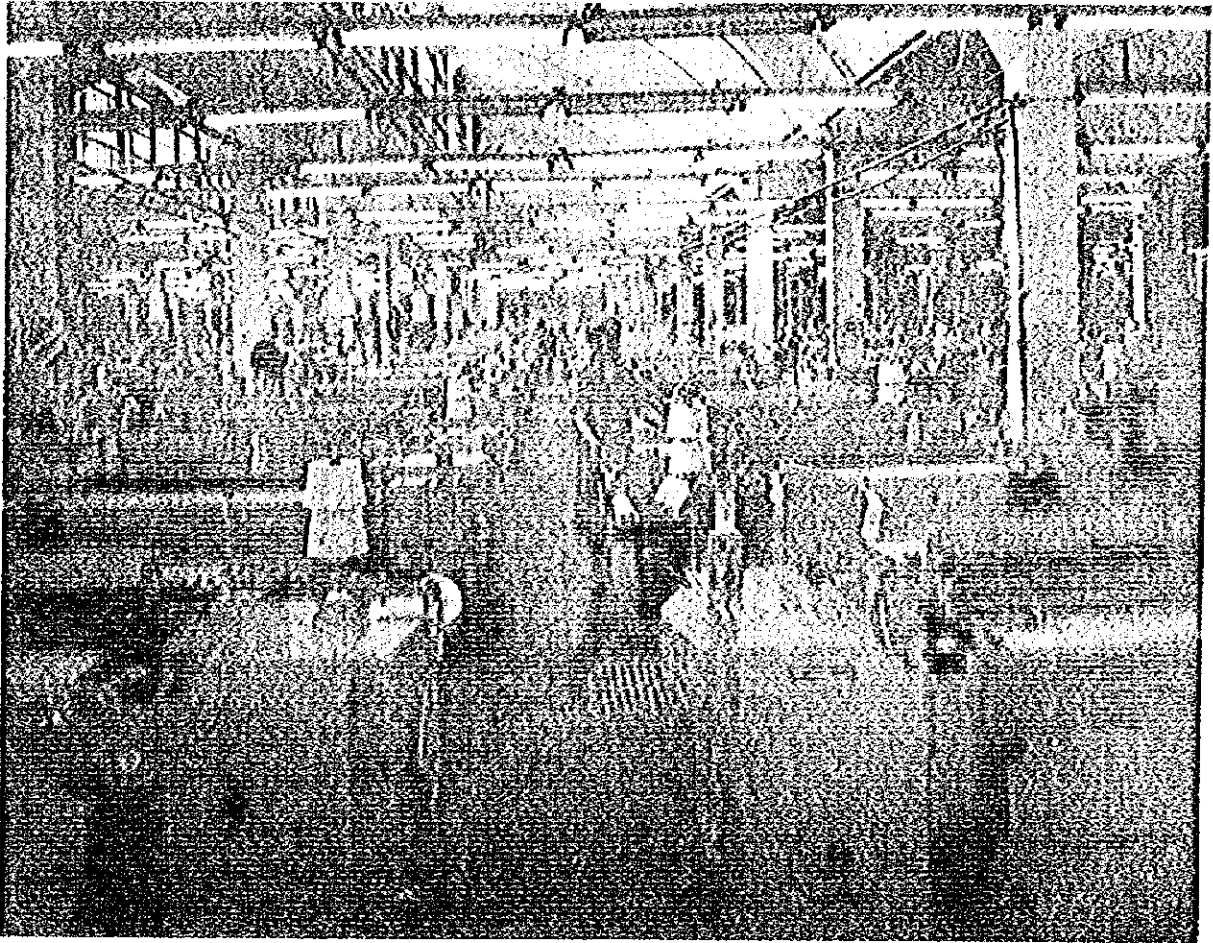


ППМ-120-А1М сиқилган ҳаво билан
ишлайдиган йиғирув машинаси.

Автоматические прядильные машины
ППМ-120-4

Automatic spinning machines
PPM-120-A1M type.

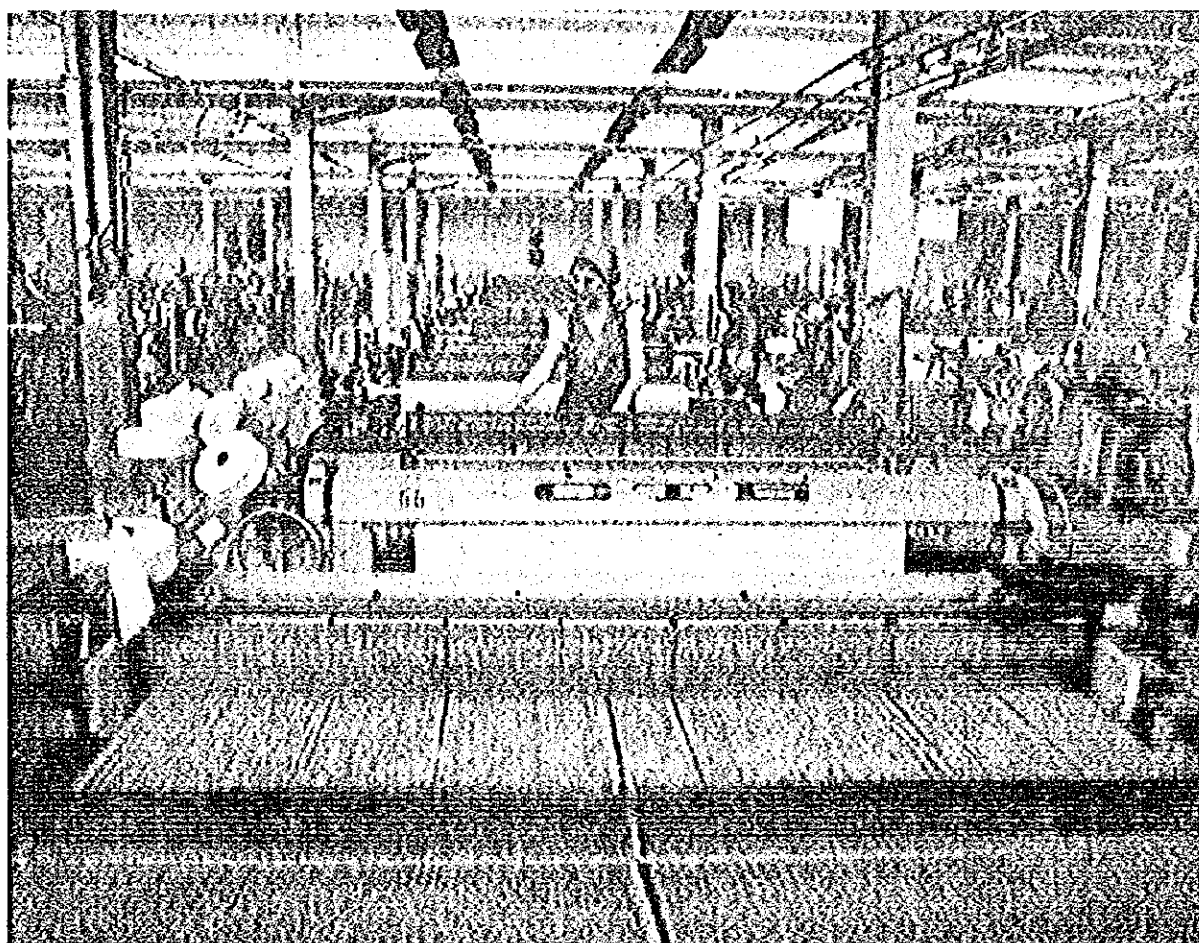




Сиқилган ҳаво билан ишлайдиган
АППР-120-4 рапир тўхуз юқори
маҳсулди дэстгоҳлари.

Высокопроизводительные
пневморепирные ткацкие станки
АППР-120-4.

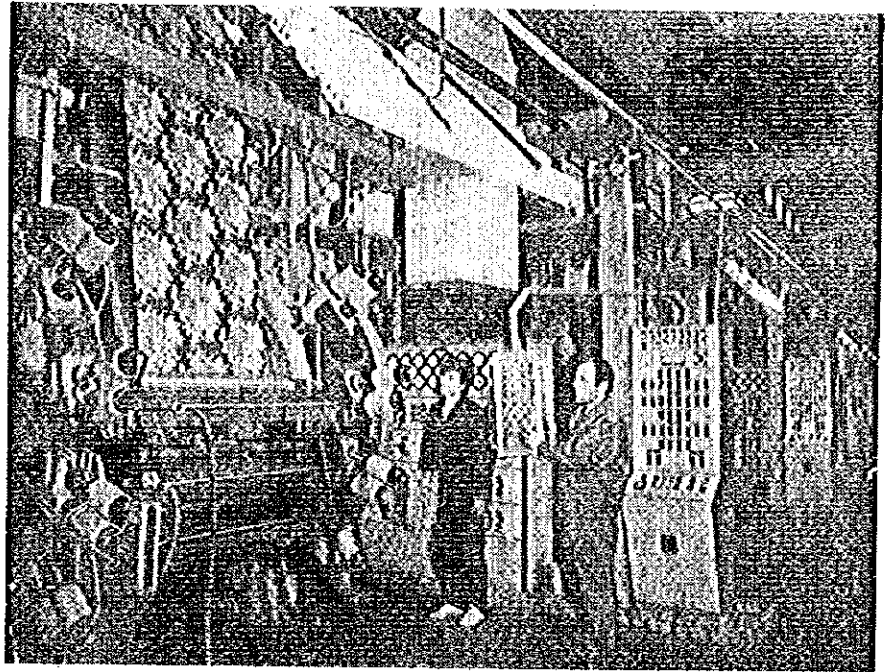
Highly productive pneumo-foil weaving
looms APPR-120-4 type.



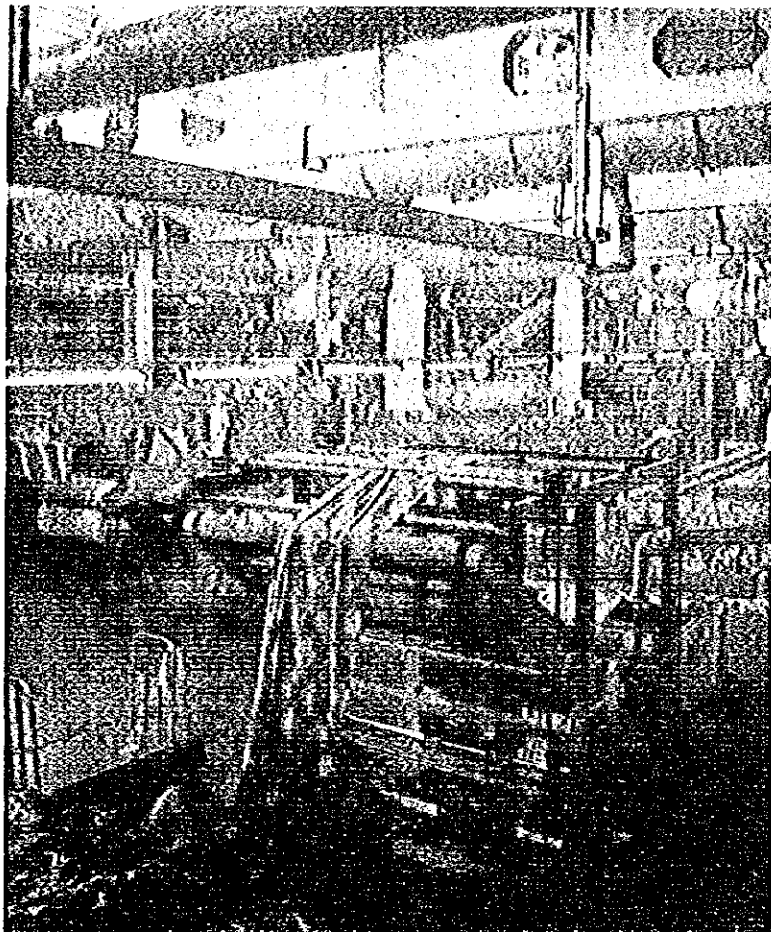
Микромокили шовқинсиз СТБ тўқув дастгоҳлари.

Микрошелночные бесшумные ткацкие станки СТБ.

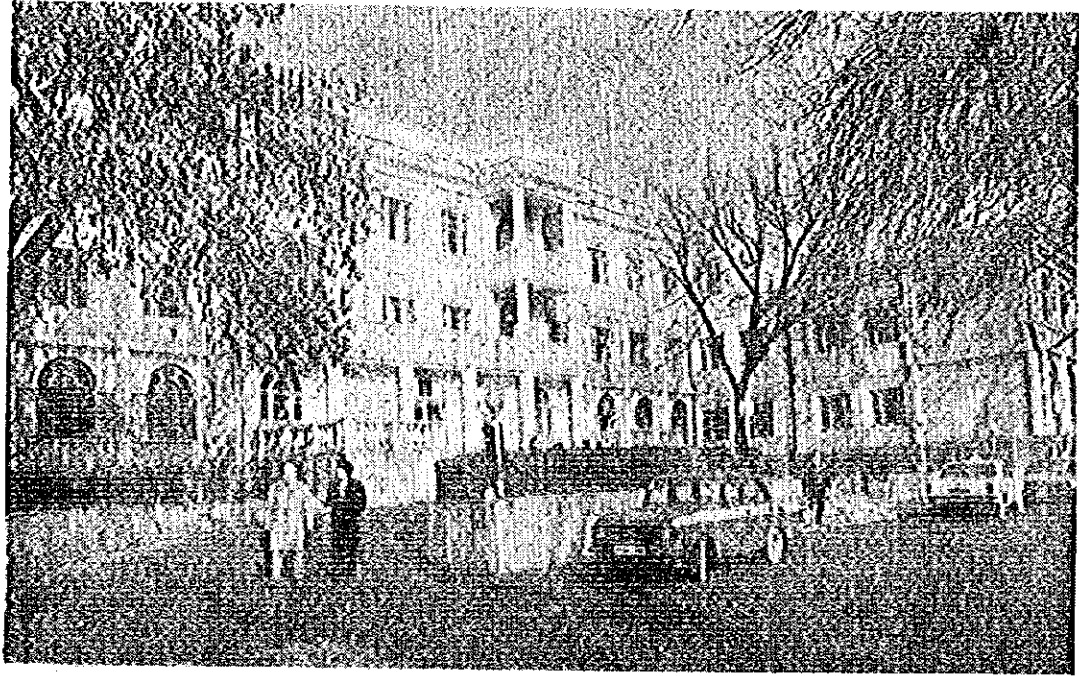
Microshuttle noiseless weaving looms STB type.



«Элитекс» фирмасининг босма тизими.
Печатная линия фирмы «Элитекс».
Printing line of «Elitek» firm.



«Бабкок» (ГФР) фирмасининг ишлов
бериш тизими.
Отделочная линия фирмы «Бабкок» (ФРГ).
Trimming line of «Babkok» firm (Germany)



Тиббий-санитария қисми.
Медико-санитарная часть.
Medical unit.

Кўз касалликлари бўлимида операция қилинмоқда.
Идет операция в глазном отделении.
The operation in eye-department.

Болалар боғчасида.
В детском саду.
In the nursery school.

